



モニュメントに早速、願いを込めてリボンを結びつけた村木君(右)と鳥居さん(左)＝長浜市西浅井町のつづら尾崎展望台で

リボン結んで願いを 長浜に恋人の聖地

モニュメントお披露目

長浜市西浅井町の奥琵琶湖パークウェイつづら尾崎展望台に、市内初となる恋人の聖地「丸子船が運ぶ恋 奥びわ湖長浜」が誕生した。十五日、同所で除幕式があり、シンボルとなるモニュメントがお披露目された。

地域振興を目的に市が、全国の恋人の聖地を選定するNPO法人に申請し、七月に認定された。県内では五番目。

モニュメントは、一般公募のメンバーでつくる委員会を中心にデザインを考案。かつて琵琶湖の水運で活躍した丸子船にハート形の帆を付けたモチーフに決めた。

大理石製で、幅一

坪、奥行き二・四坪、高さ一・七坪。地元の彫刻家で、委員会メンバーの近持イオリさん(五才)が制作した。帆の部分にはステンレスが網目状に張られ、訪れた人たちは願いを込めながら専用の赤いリボンを結ぶ。リボンには「恋の喜び」が花言葉

のツツジを印刷した。

近持さんは「リボンを結んでもらうことでモニュメントは完成する。多くの人に結んでほしい」と話した。

除幕式には、カップルや夫婦ら約二百人が集まった。地元の永原小一年、村木碧君(七才)と鳥居咲愛さん(七才)が代表して「仲良しでいられますように」と早速、リボンを結び、完

成を祝った。

藤井勇治市長は「最高の観光スポット。奥琵琶湖の魅力を全国に発信し、多くの人に来てもらうことを願う」と期待を込めた。三十日まで、平日は五十組、土日祝日は百組に展望台の売店でリボンを無料配布する。十二月から来春までは冬季閉鎖となる。

(山中正義)